

(学-1) 自学自習の記入の必要がある科目：本科学修及び専攻科の講義演習（授業内容部分に罫線あり 16 週分）

科目名	機械工学演習Ⅱ	英語科目名	Exercise of Mechanical EngineeringⅡ	
開講年度・学期	平成 26 年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科 5 年	
授業形態	演習	必修 or 選択	選択	
単位数	1 単位	単位種類	学修単位 (30+15) h	
担当教員	川村 壮司	居室 (もしくは所属)	機械工学科棟 2 階	
電話	内線 201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
	1. 静力学の基礎が理解できていること.	④	(A), (C)	d-1
	2. 引張り圧縮の問題が解けること.	④	(A), (C)	d-1
	3. 応力, ひずみおよびフックの法則が使用できること.	④	(A), (C)	d-1
	4. せん断とねじりの計算ができること.	④	(A), (C)	d-1
5. はりの曲げ問題が解けること.	④	(A), (C)	d-1	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1～5 : 試験での関連問題および中間試験, 期末試験, レポートから 60%以上の成績で達成とする.				
評価方法				
2 回の試験 (各 90 分) の相加平均と授業毎のレポートおよび小テストで評価する. 試験は, ポケコンのみ持ち込み可. なお, 参考書, コピー, 携帯電話, ノート, メモ等の持ち込みは不可.				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 静力学についての問題	材料力学の復習をしておく		1	
2. 応力, ひずみ, フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
3. 応力, ひずみ, フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
4. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
5. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
6. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
7. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
8. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1	
9. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1	
10. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1	
11. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1	
12. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
13. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
14. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
15. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1	
			自学自習時間合計	
			15	
キーワード	静力学, 応力, ひずみ			
教科書	指定しない			
参考書	前年度までの材料力学で使用したもの			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目				
現学年の関連科目				
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
シラバス作成年月日				
平成 26 年 2 月 28 日, 平成 26 年 7 月修正 (達成目標との対応)				